

生き物つながりたんけん隊 秋季編

～宝塚少年自然の家～

- ◆日時；2015年 10月22日（木） 9：30～14：40
- ◆場所；宝塚少年自然の家
- ◆目的；・絶滅危惧種のギフチョウの話を聞き、自然環境を大事にする大切さを知る
 - ・アリジゴクとアリの姿から、生きていくことの一生懸命さを実感する
 - ・園内のいろいろな生きものを観察し、生き物のつながりを確かめる
 - ・歴史民俗資料館を見学し、昔の農家の暮らしに触れる
- ◆対象；末広小学校3年生 68名（12班）
担任 秦先生、篠田先生、補助教員 2名
- ◆スタッフ；MNC26名（講師；木村（俊））

夏季（7月）は校庭や末広公園で、セミを探集たくさんの中、抜け殻も見つけました。そして、セミのからだやセミの一生を勉強しました。

秋季は宝塚少年自然の家で、いろいろな生きものの暮らしの観察です。木々の葉が色づいてくる中、木の実をちょっと味わう体験もしました。絶滅が心配されているギフチョウの保護活動の話を聞き、アリジゴクのすりばちを観察しました。自然の生きものだけでなく、わらぶきの農家や昔の道具などをみて、昔の農家の人々の暮らしにもちょっとびりふれました。最後に、イモ堀体験をしてふかしたサツマイモをいただき、今の農家の人たちのあったかさにもふれることができました。



スケジュール

- | | | |
|------|------------------|--------|
| 9：30 | 事務所前に集合・はじめのあいさつ | 先生・木下 |
| 9：35 | ギフチョウのお話 | 村上 |
| 9：55 | 園内探検に出発 | 班ごとに行動 |

1組(1班～6班)

事務所前→ギフチョウガージ→ハレーロボ→体験学習室→歴史民俗資料館→事務所前

2組 (7班～12班)

事務所前→歴史民俗資料館→体験学習室→ハレーロボ→ギフチョウガージ→事務所前

全員

事務所前→アカシア広場→多目的広場→松尾湿原→多目的広場

11:15 多目的広場でアリジゴクの話 木村

11:30 児童乾燥発表とまとめ

11:40 昼食（多目的広場）

13:00 児童たちと一緒においもほり

時間を追って、「生きものつながりたんけん隊」の活動を写真で紹介します。

♥はじめのあいさつ・ギフチョウの話



よろしくお願いします



ギフチョウを見たことありますか



ギフチョウのサナギだよ

♥園内探検



さあ、出発



こんなものがお出迎え



ギフチョウのケージ、ここで育つ



火吹きだけ体験



天井が高いなあ



縁側に座ってみよう



さわやかな季節です



サルトリイバラの赤い実がきれい



昔の生活を体験します



こうやってお米をとるよ



こんなの使ってたんだ



ナツハゼだよ、あまずっぱいよ



ハレーロボ、天文台だよ



アカメガシワの葉っぱのバッグです



秋が深まりつつあります

♥多目的広場へ



虫取り網も持っていこう



ここにカンアオイがあったんだけど・・・



バッタがいたよ

♥アリジゴクの勉強



何があるの？



ほら、そこにあるよ



すりばちの形、だね



紙芝居の始まり、始まり



アリジゴクのからだは・・



アリジゴクの親・ウスバカゲロウの標本



きょうみしんしん、です



抜けた殻があるよ



感想をいいます

木村博士の紙芝居は、毎回グレードアップします。アリを捕まえると大きなあごをストローにして、体液をチューチューアります、と身ぶりもまじえて話します。1回食べると3か月は食べなくても大丈夫だよ、とアリジゴクの生き方を分かりやすく楽しく話します。終わって聞いてみると、「おもしろかった」という子どもが大部分でした。

紙芝居が終わったところで、今日の学習の感想を言ってもらいました。

- ・歴史民俗資料館の古い家が残っているのがすごいと思いました。
- ・今とは違うものを使って暮らしていたことがわかりました。
- ・ウスバカゲロウのくらしがわかって良かった。
- ・場所がアリジゴクと思っていたけど、生き物の名前がアリジゴクとわかった
- ・アリジゴクが実際に見れてよかったです。

♥芋ほり体験



さあ掘るよ



なかなか掘れないよ



大きいのとれたよ



お芋農家へ移動して



ふかし芋をいただきました



ヤギさんもいました

班分けと担当

1班	平山・斎藤	2班	木村・詠田	3班	野村・吉川
4班	石橋・水野	5班	沼田・新宅	6班	坂本・松田
7班	多田・小童	8班	高山・永井	9班	軸屋・小林
10班	村上・福田	11班	中尾・石原	12班	星野・高橋

秋晴れの日が続いていた中で、この日は朝から曇り空。ちょっと寒いかなという感じでしたが、子どもたちは元気元気。バッタを捕まえ、アマガエルにこんにちは。昼ごろチラッときましたが、それ以上は降らず、たっぷり宝塚自然の家の秋を楽しみました。

スタッフの皆様、お疲れ様でした。



総括/木下

文・写真/吉田